

# 瀬谷区地域福祉保健計画推進シンポジウム報告

[開催日時] 平成 28 年 11 月 12 日（土） 13 時 30 分～16 時

[開催場所] 瀬谷公会堂

[内容]

1. 基調講演 : 共育ひろば主宰 牧岡 英夫氏  
演 題 : 「あなたの力・知恵を貸して～できる事を できる人が できる所で～」
2. 各地区の地区別計画取組紹介パネル展示と区内福祉作業所作品展示販売
3. 地区別計画取組発表（相沢地区、南瀬谷地区、瀬谷第四地区）
  - (1) 相沢地区（地区社協会長 相澤氏 「障害のある方たちとの交流の場をつくる」）
  - (2) 南瀬谷地区（地区社協事務局長 森谷氏 「“みなみせやサポーターズ” 発足！」）
  - (3) 瀬谷第四地区（地区社協会長 松本氏 「人材発掘・人材育成（地域活動フォーラム）」）

[参加者数] 約 270 名

[当日の様子]

基調講演



地区別活動状況紹介パネル展示



地区別計画取組発表



相澤氏（相沢地区）

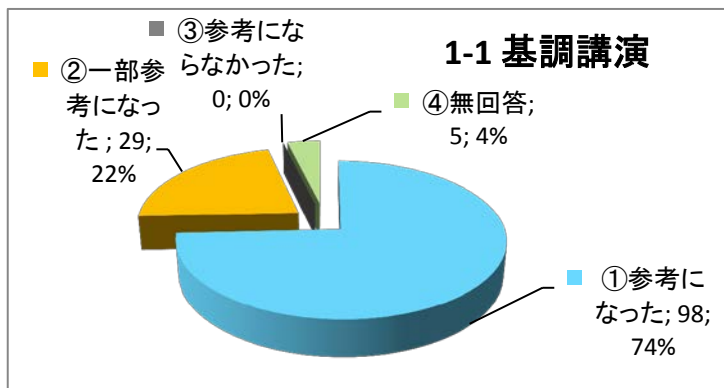


森谷氏（南瀬谷地区）



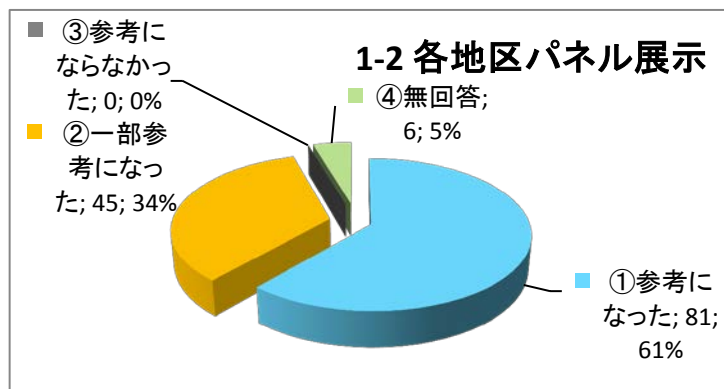
松本氏（瀬谷第四地区）

## 1. シンポジウムの内容について



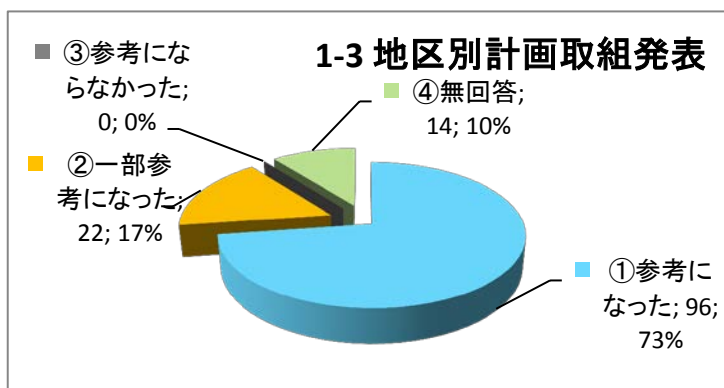
**1-1 基調講演**

①参考になった	: 98 (74%)
②一部参考になった	: 29 (22%)
③参考にならなかった	: 0 (0%)
④無回答	: 5 (4%)



**1-2 各地区パネル展示**

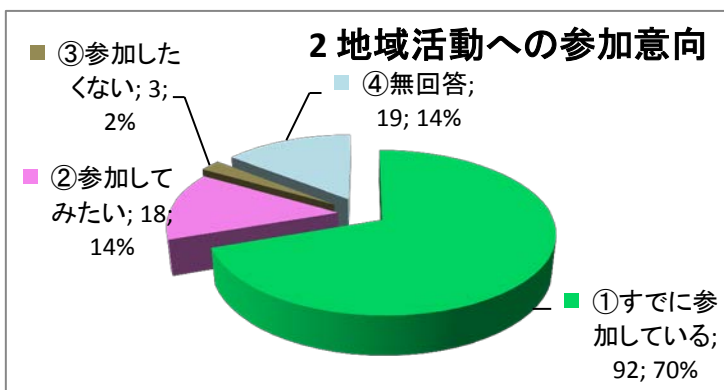
①参考になった	: 81 (61%)
②一部参考になった	: 45 (34%)
③参考にならなかった	: 0 (0%)
④無回答	: 6 (5%)



**1-3 地区別計画取組発表**

①参考になった	: 96 (73%)
②一部参考になった	: 22 (17%)
③参考にならなかった	: 0 (0%)
④無回答	: 14 (10%)

## 2. 地域活動への参加意向



**2 地域活動への参加意向**

①すでに参加している	: 92 (70%)
②参加してみたい	: 18 (14%)
③参加したくない	: 3 (2%)
④無回答	: 19 (14%)

### 3. 全体をととしての感想等

#### 【基調講演】

- ① 牧岡さんの話は地域活動の基本だと思う。点と点が線で結ばれ、やがて面のおつきあいになるとの話は日頃の活動を思い返して大変参考になった。少しでも太く長い線を増やせるよう活動していきたい。
- ② 地域のコミュニケーションの深まりが必要と感じた。声をかければ活動に参加してくれることも多い。多くの人に声をかけ、挨拶するように心がけたい。
- ③ 牧岡先生の実際取組や活動内容をもっと具体的にお話ししてほしいと思った。
- ④ 訪問を拒否をされたとき行政と一緒に再訪問するとよいとの話があったが、本当に区と一緒にしてくれるのだろうかと考えてしまう。
- ⑤ 無理せず空き時間を少し提供することで、暮らしやすい地域になるのだとあらためて感じた。

#### 【地区別計画取組発表】

- ① 地域の方が自分の地域と向き合い、楽しみながら活動されている姿に感銘を受けた。大変進歩的な取組がされていることに感心した。もっと他の地区の話も聞きたかった。
- ② それぞれの地区の活動がとても自主的で前向きな方が増えていると感じた。人材発掘は大変だが、少しだけ安心した。みんなでやればなんとかなるかもしれない。がんばります。
- ③ これまでの諸活動を成果として次の世代につなげられるような仕組みができればと思う。
- ④ 3地区とも資料も時間配分も素晴らしく、力強く明るくて楽しげで勇気をもらった。
- ⑤ いろいろな思いを進めていくことの大変さと、前に進むことで課題は少しずつ解決していくとあらためて感じた。人材は地域にあるのだということを感じた。振り返りは大切だと感じた。
- ⑥ 課題目標をしっかり立てる、修正を行いながら目標に向けて協力していく。これが難しいと思う。リーダーの方の苦労を感じた。
- ⑦ 相沢地区の発表で、施設事業所と地域の積極的な関わりがあることを知り、施設が排除されない取組があることを知り安心した。組織的な取組が各地区でされていることが分かり地域の力をあらためて感じた。
- ⑧ 南瀬谷地区のみなサポの活動は素晴らしい。プレーパークの経過も聞きたかった。
- ⑨ 第四地区の計画は第1期から今期まで理路整然としていてすばらしい。自地区にも取り入れていきたいが、ボランティア活動拠点と事務局体制がなかなか作れずなかなか進まない。

#### 【運営・構成に関すること】

- ① ボランティアの多くは主婦であり、午後のこの時間帯は都合が悪い。
- ② 全体の時間が長い。途中20分の休憩はもっと短くてよい。招待者の紹介は出席者のみでよい。
- ③ 毎年かわら版作成等の準備のために一部の人に負担が集中しており、地域行事等本来の活動ができない。毎年作成する必要があるのか？
- ④ 参加者が少ない。特に自治会町内会長の参加が少ない。役員が毎年替わることも多く、地域福祉保健計画のことをよくわかっていないのではないか。まずそこから働きかけていくことが必要。
- ⑤ 質疑の時間を増やしてほしい。今後の活動の発展のために、もっと本音の意見交換があってよい。

#### 【その他】

- ① シンポジウム初参加。今後も機会があれば話を聞いて地区の活性化に役立てたい。
- ② 若い人の力が多く得られた。発信の大切さ、地域のつながりの大切さを感じた。
- ③ お互いよいところを参考にして、瀬谷区全体が安心して暮らせるまちになってほしい。顔が分かって楽しい地域活動になるとよい。地域のつながりがとても重要だと思った。
- ④ 仕事や老老介護のため、自分から積極的に地域活動に参加できないが、地域の人たちがお互いに見守りをしてゆくことを願っている。
- ⑤ 年々参加が増えてすばらしい。瀬谷区の地域福祉保健活動がとても活発であることがよく伝わった。
- ⑥ 住民が自分の地域を自分が参加して作るという気持ちになるように、小さなことでも取り上げていくことが大切だ。